

禍中お見舞い申し上げます。

この度は、節分に際しての趣意にご賛同いただき、まことに有り難うございました。おかげさまで、二五三名もの方々から署名入りの賛同書が届けられました。そのお一人お一人が、宗派教団や社寺教会の長や責任者でいらっしゃるのですから、実際には数えきれないほど多くの方々と、百二十四年ぶりという二月二日の節分の日に、心ひとつになってコロナ禍終息の祈りを捧げることができたと確信しております。

神仏のご加護により靈験あらたかなることを心から願っています。コロナ禍の完全終息、すなわち世界中を席卷する今回の感染症による苦しみから、全ての人々が解放されるまで、私たちの祈りは続きます。

その意味で、この度の祈りはあくまでも通過点と申し上げざるを得ないのでありますが、何はさておき、この度ご賛同いただいた全ての方々に、心より厚く御礼申し上げます。賛同者各位の芳名ならびに関連報告事項は、RNN（人道援助宗教NGOネットワーク）のホームページ（rn.jp）に順次更新公開しておりますので、ご確認くださいませようお願いたします。

末筆ながら、御身のご安全を心より祈念いたします。

再拝

令和三年二月三日立春

RNN事務局長

黒住教教主

黒住宗道 拝

ご賛同者各位